

問い合わせ先
海洋情報部監理課専門官 三浦幸広
082-251-5111 (内 2511)



平成23年11月24日
第六管区海上保安本部

冬から春にかけて、大潮期の干潮時に注意！

冬から春にかけて、大潮期の干潮時は、海水面（潮位）が一際低くなる時期です。この時期の干潮時には、実際の水深が海図に記載された水深値より浅くなる時間帯がありますので、船舶が浅い海域を航行するなどの際は、注意が必要です。

なお、強い高気圧の影響や寒気の流入によっては、さらに海面が下がることもあります。

○冬から春の大潮期の干潮時は、次のことに注意しましょう

- (1) 浅所及びその付近を航行する船舶は、安全な水深を確保しながら航行しましょう。
- (2) 岸壁へ船舶を係留する際は、係留索の長さに注意をしましょう。
- (3) 事前に、潮汐表で潮位を確認しましょう。

六管区内の主な港において、大きく海面が低くなるマイナス潮位（注）となる日時は別表のとおりです。

年内では、マイナス潮位が大きい日は、11月26日に広島でマイナス23cm、呉でマイナス26cmとなります。また今期マイナス潮位が最大となる日は、5月7日に広島でマイナス25cm、呉でマイナス29cmとなります。この時期は日本沿岸でマイナス潮位となりますので、航海の際には海上保安庁刊行の潮汐表を使用し安全運航に努めて下さい。

○ 実際の潮位等は、ホームページ及び携帯電話サイトで確認できます

当本部では、ホームページ及び携帯電話サイトにおいて、六管区内の験潮所で観測したリアルタイム潮位、各地の潮汐・潮流の推算等の様々な情報を掲載していますので、ご利用下さい。

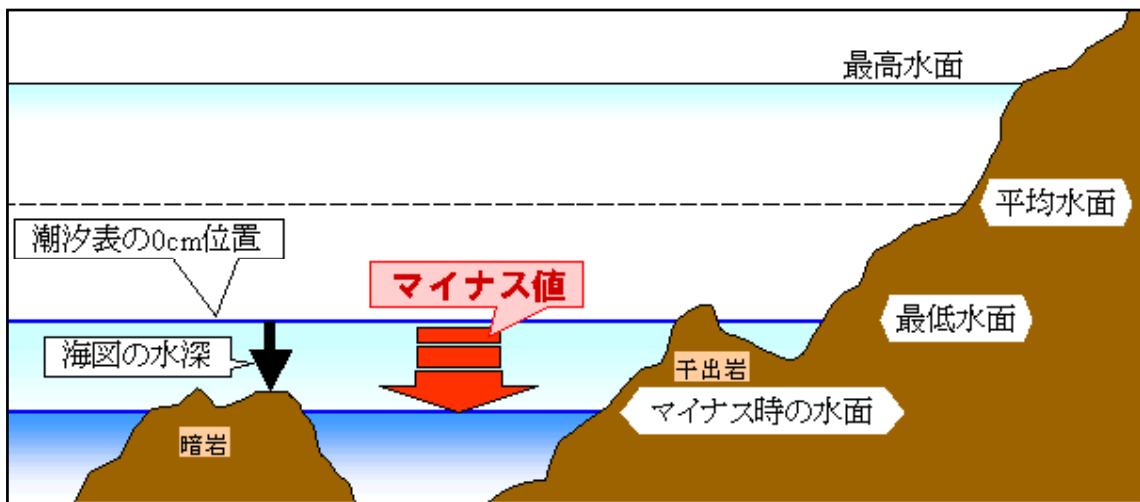
PCサイトURL : <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/>

携帯サイトURL : <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN6/i/>

(注) マイナス潮位とは

潮がひいても、海面がほぼこれ以上下がらない面を「最低水面」としており、海図に記載される水深値及び潮汐表に記載される潮位は、この最低水面を基準に表します。

マイナス潮位とは、この最低水面よりさらに海面が下がるので、海図記載の水深より、その分浅くなるので注意が必要です。



○ 潮汐表第1巻(海上保安庁刊行)

日本及びその付近における、主要な港71港の毎日の高・低潮時とその潮高及び主要な瀬戸20か所の毎日の転流時・流速最強時とその流速の予報値が掲載されている。

刊種	書誌番号	書誌名	サイズ	発行日	価格(税込)
新刊	781	平成24年潮汐表 第1巻	A4版	平成23年3月4日	3,969円

《潮汐表の購入方法》

最寄の水路図誌販売所などで購入いただけます。

なお、水路図誌販売所の詳細については、第六管区海上保安本部『海の相談室』(電話082-251-5111 内線2520)までお問い合わせください。

